

京の宮絵師・安川如風

# こころの朋友

友の会会報

発行 安川如風友の会  
(事務局:宮絵師安川中町工房内)  
住所:京都市左京区岩倉中町433-1  
TEL:075-723-1071  
FAX:075-723-1045  
URL:http://www.miyaeshi.co.jp/  
E-mail:info@miyaeshi.co.jp

## 季節の風

この春、三月十四日に山々にかこまれた京都市に初めての水族館「京都水族館」がオープンしました。海水魚・淡水魚はもちろんのこと、イルカスタジアムなどもあり、水族館として充実した施設のようです。歴史や美術を通して、また社寺や史跡をとおして京都の町を学ぶ機会はたくさんあります。たまには山紫水明の都の観点から京都の町を学ぶのはいかがでしょうか。

場所は下京区の梅小路公園。入場料は、大人二千円。詳しくは左記ホームページをご覧ください。  
<http://www.kyoto-aquarium.com/>



## 如風活動便り

### 眞宗高田本山専修寺 関東別院にて講演!!

昨年八月二十五日、東大田区にある眞宗高田本山専修寺の関東別院において講演をしてきました。関東における高田派の寺院のご住職むけの文化講座で、本山絵所頭として、東西派と異なる高田派の彩色などについてお話させて頂きました。



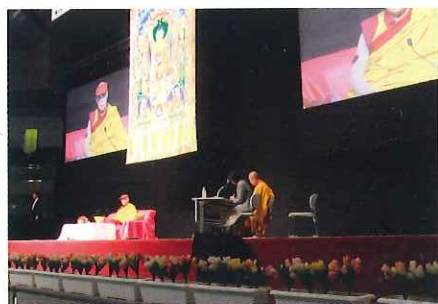
▲講演風景

### ダライ・ラマ法王十四世 高野山講演IIを傾聴!!

昨年十一月三日、高野山大学にて開かれた、ダライ・ラマ法王十四世の講演を聴いて来ました。これは、高野山大学創立百二十五周年記念に企画されたもので、当会顧問の藤田光寛高野山大学学長からお誘いいただきました。

ご存知のように、ダライ・ラマはチベットの最高指導者であり、一九五九年チベットからインドに亡命し、現在、ダラムサラで亡命政府を樹立しています。その関係で、講演会はセキュリティが厳しく、カメラ撮影も禁止、壇上と聴講席にも距離がありました。それにもかかわらず、講堂は溢れんばかりの人が集まり、熱心に傾聴していました。講演では、「内なる平和なくして健全な世界は実現できない。全ての世界宗教は同じ内なる平和を育むことができるはずなのだ。そして信仰をもたない人たちもまた人間として同様の責を担っているのだ。」と語られ、

宗教の違いにかかわらず世界中の人類の平和について考えておられ、すべての世界の宗教、また人類一人一人の責任ある行動を求められました。他を排除するのではなく、宗教間の調和のために世界中で活動をしておられる彼の姿勢に直接触れることができ、あらためて尊敬すると共に、宗教の役割の重要性を確信することができました。



▲講演風景



▲奥の院参拝風景 中央:ダライ・ラマ14世 その右:藤田学長

※いずれも、藤田光寛学長よりご提供頂きました。

## 朋友メール

信仰心とは？

香川県仲多度郡 眞宗眞正派常福寺 住職 大塚 芳明 (63)

瀬戸内寂聴さんが、東北の被災地で、青空説法されていたのをテレビで見ました。「本当に大切なものは、目に見えないのです。神様や仏様、そして亡くなった方々のタマシイも：」とおっしゃっていました。かけがえのない大切な人を失った人々は、皆、一緒にうなずいていました。その時私は、タマシイがあるかないか、という理屈なんかどうでもよい、屈なんかどうでもよい、と思いました。夫や妻、父や母、そして何よりも可愛い我が子を失った遺族にとつては、亡くなった者のタマシイはなくてはならないのです。たとえ目に見えなくとも：。いや、目に見えないからこそ、あると思うのです。そして、あの世や天国や浄土から見守ってくれていると信じているので、同時に「私の心の中にいる」と感じることに